



## 2023年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月13日

上場会社名 TONE株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5967 URL https://www.tonetool.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢野 大司郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 井上 昌良 TEL 0721-51-1386  
 定時株主総会開催予定日 2023年8月29日 配当支払開始予定日 2023年8月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年8月29日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年5月期の連結業績（2022年6月1日～2023年5月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期	6,800	5.5	1,222	24.0	1,266	16.6	866	25.1
2022年5月期	6,446	5.3	985	△14.0	1,086	△9.0	692	△17.8

(注) 包括利益 2023年5月期 1,087百万円 (98.5%) 2022年5月期 547百万円 (△40.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年5月期	80.21	—	9.5	11.9	18.0
2022年5月期	64.36	—	8.4	11.2	15.3

(参考) 持分法投資損益 2023年5月期 ー百万円 2022年5月期 ー百万円

(注) 当社は2022年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2022年5月期の期首に当該株式分割が実施されたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期	11,345	9,726	85.7	873.94
2022年5月期	9,972	8,514	85.4	789.81

(参考) 自己資本 2023年5月期 9,726百万円 2022年5月期 8,514百万円

(注) 当社は2022年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2022年5月期の期首に当該株式分割が実施されたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年5月期	382	△238	△13	1,839
2022年5月期	770	△1,345	△112	1,698

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年5月期	—	—	—	60.00	60.00	135	18.6	1.6
2023年5月期	—	—	—	20.50	20.50	238	25.6	2.5
2024年5月期(予想)	—	—	—	20.50	20.50		21.6	

(注) 2022年12月1日付で普通株式1株について5株の割合で行った株式分割後の期末配当金となります。なお、2022年5月期につきましては株式分割前の期末配当金となっております。

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,670	17.9	660	15.1	680	9.0	460	8.3	42.57
通期	7,980	17.3	1,450	18.6	1,480	16.8	1,000	15.4	92.55

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期	11,713,000株	2022年5月期	11,713,000株
② 期末自己株式数	2023年5月期	62,120株	2022年5月期	409,470株
③ 期中平均株式数	2023年5月期	10,805,248株	2022年5月期	10,759,720株

（注）2022年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数及び期中平均株式数については、2022年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

（参考）個別業績の概要

1. 2023年5月期の個別業績（2022年6月1日～2023年5月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期	6,695	4.5	1,063	16.0	1,144	10.7	778	17.9
2022年5月期	6,404	5.8	917	△12.3	1,033	△5.9	659	△13.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期	72.01	—
2022年5月期	61.34	—

（注）2022年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数及び期中平均株式数については、2022年5月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	
2023年5月期	11,152	9,537	9,537	85.5	85.5	856.93	
2022年5月期	9,872	8,425	8,425	85.3	85.3	781.57	

（参考）自己資本 2023年5月期 9,537百万円 2022年5月期 8,425百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況」（4）今後の見通しをご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症との共存が進み、経済活動は回復傾向にあります。しかし円安や、ウクライナ情勢の影響による原材料やエネルギー価格の高騰などは継続しており、先行きは依然として不透明な状況であります。

このような経営環境の中で、当社グループは「『ボルディング・ソリューション・カンパニー』として社会の発展に貢献し、地球上になくはならない企業をめざす。」ことを企業理念に掲げ、「ボルト締結分野」においてお客様が求める価値を的確に捉え、「スピード感と一体感のある製品開発体制」を基軸に保有技術を有効的に活用し、より多くのお客様に「ボルト締結」に最適な手段を提供するとともに、「締結」に関する課題解決を通じて「満足」「感動」「価値」を提供してまいりました。

その結果、当連結会計年度の経営成績につきましては、売上高は68億円（前年同期比5.5%増）となりました。また、利益面では営業利益は12億2千2百万円（前年同期比24.0%増）、経常利益は12億6千6百万円（前年同期比16.6%増）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は8億6千6百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

各セグメントの経営成績は、以下の通りであります。

#### (国内)

作業工具類の売上高に関しましては、国内の経済活動における工具の消費・受注は新型コロナウイルス感染症以前の水準までには回復しておらず、新製品リリースや提案型の販売促進活動を進めるとともに、より多くの人々に工具の魅力を伝えることを目的に行っているモータースポーツの応援（レースチームサポートやレース協賛）による継続的なブランディング活動により「TONEブランド」の浸透に努めましたが、売上高は前年同期を下回りました。

機器類の売上高に関しましては、資材調達難や、着工遅れが見られるものの、主要都市圏の再開事業の計画等建築需要には明るい兆しが続いております。また、「シャーレンチ」及び「建方1番」製品群に続き、「ナットランナー」製品群にもコードレスタイプの新製品が加わり、トルク管理の観点からも顧客需要を満たす提案活動を行った結果、市場需要の回復とも重なり、売上は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は52億5千万円（前年同期比3.8%増）となり、セグメント利益は6億9千4百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

#### (海外)

作業工具類の売上高に関しましては、設備投資の高まりと対面での営業活動が一部再開し、トルクレンチや新製品を中心とした提案活動を行った結果、売上高は前年同期を上回りました。

機器類の売上高に関しましては、国内同様、主力製品「シャーレンチ」製品群及び「ナットランナー」製品群の販売促進活動を展開するとともに、新規市場の開拓及び顧客需要を満たす提案活動を行った結果、北米の建築市場における大口需要及び欧州等での新規顧客を獲得し、売上高は前年同期を上回りました。

その結果、売上高は15億5千万円（前年同期比11.8%増）となり、セグメント利益は5億2千8百万円（前年同期比45.4%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

資産合計は、113億4千5百万円（前連結会計年度末99億7千2百万円）となり前連結会計年度末に比べ13億7千2百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の増加1億4千1百万円、受取手形及び売掛金の増加2億2千8百万円、商品及び製品の増加4億6千万円、原材料及び貯蔵品の増加1億8千3百万円、建物及び構築物（純額）の増加4千2百万円、投資有価証券の増加2億4千6百万円等によるものです。

#### (負債)

負債合計は、16億1千8百万円（前連結会計年度末14億5千8百万円）となり前連結会計年度末に比べ1億5千9百万円増加しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加1億2千万円、未払金の増加1億9百万円等によるものです。

#### (純資産)

純資産合計は、97億2千6百万円（前連結会計年度末85億1千4百万円）となり前連結会計年度末に比べ12億1千2百万円増加しました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上8億6千6百万円、自己株式処分差益1億5千5百万円等によるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、18億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億4千1百万円の増加となりました。当連結会計年度末におけるキャッシュ・フローの状況のそれぞれの要因は次の通りであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動においては、棚卸資産の増加5億9千8百万円、法人税等の支払額4億8百万円等の資金の減少がありましたが、税金等調整前当期純利益12億6千6百万円等による資金の増加により、資金はプラス3億8千2百万円（前連結会計年度はプラス7億7千万円）となりました。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動においては、有形及び無形固定資産の取得による支出2億3千1百万円等により、資金はマイナス2億3千8百万円（前連結会計年度はマイナス13億4千5百万円）となりました。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動においては、自己株式の処分による収入3億1千8百万円がありましたが、配当金の支払に1億3千4百万円、長期借入金の返済1億円、自己株式の取得9千5百万円等を支出したことにより、資金はマイナス1千3百円（前連結会計年度はマイナス1億1千2百円）となりました。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による制限緩和により、経済活動は活発化していく期待はあるものの、長引くウクライナ情勢や輸送・原材料及びエネルギー等のコスト高止まり、円安傾向が続く等の懸念材料があり、今後の見通しは不透明であります。

このような厳しい環境のなかで、「ボルト締結分野」における競争優位性の高い新製品群の投入に加え、徹底した原価軽減により競争力の強化を図るとともに、海外拠点の安定稼働とグループ全体の製造・物流・販売体制の最適化を図ってまいります。

また、品質と信頼の世界ブランド「TONE」の確立をめざし、製品とサービスの拡充、卓越した技術力でお客様に「満足」「感動」「価値」を提供し続けてまいりますとともに、世界に冠たる総合工具メーカーとしての地位を一段と揺るぎないものとするため、全社グループ一丸となって邁進する所存でございます。

現時点における通期の業績見通しとしては、連結売上高79億8千万円、営業利益14億5千万円、経常利益14億8千万円とし、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、10億円を見込んでおります。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、企業体質の強化を図りながらも、業績に応じた継続的かつ安定的な配当を行なうことを基本方針としております。

また、内部留保金につきましては、財務体質の強化を図りながら、新製品開発、生産・販売体制の強化及び品質向上を目的とする設備投資等に活用したいと考えております。

当期の配当金につきましては、将来の事業計画、業績、配当性向並びに財務状況等、総合的に勘案いたしまして、1株につき20.50円とさせていただきます。予定であります。

次期の配当金につきましては、1株につき20.50円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当連結会計年度 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,698,215	1,839,592
受取手形及び売掛金	1,459,373	1,687,963
商品及び製品	1,239,940	1,700,164
仕掛品	341,109	304,330
原材料及び貯蔵品	1,019,865	1,203,559
その他	118,571	149,117
貸倒引当金	△4,357	△5,395
流動資産合計	5,872,718	6,879,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	673,455	716,395
機械装置及び運搬具(純額)	103,680	102,128
工具、器具及び備品(純額)	24,474	26,362
土地	1,576,096	1,576,096
リース資産(純額)	1,988	1,136
建設仮勘定	34,305	132,717
有形固定資産合計	2,414,000	2,554,835
無形固定資産		
その他	87,041	67,441
無形固定資産合計	87,041	67,441
投資その他の資産		
投資有価証券	1,229,709	1,476,152
退職給付に係る資産	48,046	43,408
その他	321,363	323,890
投資その他の資産合計	1,599,119	1,843,450
固定資産合計	4,100,161	4,465,727
資産合計	9,972,879	11,345,060

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当連結会計年度 (2023年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	613,078	733,720
1年内返済予定の長期借入金	100,000	—
リース債務	937	937
未払法人税等	231,849	219,229
賞与引当金	131,924	100,822
未払金	147,939	257,692
未払費用	50,281	51,038
製品保証引当金	35,505	18,000
その他	33,031	24,993
流動負債合計	1,344,546	1,406,433
固定負債		
リース債務	1,249	312
繰延税金負債	99,271	135,616
資産除去債務	3,780	3,780
長期未払金	6,030	6,270
株式給付引当金	—	62,202
その他	3,800	3,800
固定負債合計	114,131	211,981
負債合計	1,458,678	1,618,415
純資産の部		
株主資本		
資本金	605,000	605,000
資本剰余金	633,555	788,827
利益剰余金	7,568,730	8,299,723
自己株式	△511,113	△406,126
株主資本合計	8,296,172	9,287,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198,309	407,602
為替換算調整勘定	19,719	31,620
その他の包括利益累計額合計	218,028	439,222
純資産合計	8,514,201	9,726,645
負債純資産合計	9,972,879	11,345,060

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
売上高	6,446,270	6,800,959
売上原価	3,710,016	3,775,856
売上総利益	2,736,253	3,025,102
販売費及び一般管理費	1,750,310	1,802,460
営業利益	985,943	1,222,642
営業外収益		
受取利息	183	2,275
受取配当金	27,160	46,709
為替差益	70,226	25,627
投資有価証券売却益	—	315
その他	10,942	9,617
営業外収益合計	108,513	84,545
営業外費用		
支払利息	2,015	847
固定資産除売却損	40	38,399
その他	5,595	1,031
営業外費用合計	7,652	40,278
経常利益	1,086,804	1,266,909
特別損失		
投資有価証券評価損	14,888	—
特別損失合計	14,888	—
税金等調整前当期純利益	1,071,915	1,266,909
法人税、住民税及び事業税	393,330	401,247
法人税等調整額	△13,915	△972
法人税等合計	379,414	400,274
当期純利益	692,501	866,634
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	692,501	866,634

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
当期純利益	692,501	866,634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△155,653	209,292
為替換算調整勘定	11,097	11,900
その他の包括利益合計	△144,556	221,193
包括利益	547,944	1,087,828
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	547,944	1,087,828
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	605,000	428,148	7,004,666	△357,920	7,679,894
当期変動額					
剰余金の配当			△128,437		△128,437
親会社株主に帰属する当期純利益			692,501		692,501
自己株式の取得				△366,794	△366,794
自己株式の処分		205,407		213,601	419,009
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	205,407	564,064	△153,192	616,278
当期末残高	605,000	633,555	7,568,730	△511,113	8,296,172

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	353,962	8,622	362,585	8,042,479
当期変動額				
剰余金の配当				△128,437
親会社株主に帰属する当期純利益				692,501
自己株式の取得				△366,794
自己株式の処分				419,009
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△155,653	11,097	△144,556	△144,556
当期変動額合計	△155,653	11,097	△144,556	471,722
当期末残高	198,309	19,719	218,028	8,514,201

当連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	605,000	633,555	7,568,730	△511,113	8,296,172
当期変動額					
剰余金の配当			△135,642		△135,642
親会社株主に帰属する当期純利益			866,634		866,634
自己株式の取得				△95,957	△95,957
自己株式の処分		155,271		200,944	356,215
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	155,271	730,992	104,986	991,250
当期末残高	605,000	788,827	8,299,723	△406,126	9,287,423

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	198,309	19,719	218,028	8,514,201
当期変動額				
剰余金の配当				△135,642
親会社株主に帰属する当期純利益				866,634
自己株式の取得				△95,957
自己株式の処分				356,215
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	209,292	11,900	221,193	221,193
当期変動額合計	209,292	11,900	221,193	1,212,444
当期末残高	407,602	31,620	439,222	9,726,645

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,071,915	1,266,909
減価償却費	128,685	119,508
為替差損益(△は益)	△87,540	8,713
貸倒引当金の増減額(△は減少)	183	1,038
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△16,183	4,638
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△11,828	△17,505
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,751	△31,101
株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	62,202
受取利息及び受取配当金	△27,344	△48,984
支払利息	2,015	847
株式報酬費用	5,378	5,917
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	40	13,839
投資有価証券評価損益(△は益)	14,888	—
売上債権の増減額(△は増加)	△98,841	△228,316
棚卸資産の増減額(△は増加)	63,054	△598,783
仕入債務の増減額(△は減少)	196,070	120,510
未払消費税等の増減額(△は減少)	△93,091	△2,926
未収消費税等の増減額(△は増加)	△45,696	△35,805
その他	△10,316	102,090
小計	1,110,141	742,791
利息及び配当金の受取額	27,350	48,561
利息の支払額	△2,014	△822
法人税等の支払額	△365,084	△408,195
営業活動によるキャッシュ・フロー	770,393	382,335
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△690,769	△231,582
投資有価証券の取得による支出	△642,130	—
投資有価証券の売却による収入	—	482
差入保証金の差入による支出	△52	—
差入保証金の回収による収入	223	9,362
保険積立金の積立による支出	△13,107	△13,107
ゴルフ会員権の取得による支出	—	△3,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,345,835	△238,057
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△100,000
配当金の支払額	△110,955	△134,909
リース債務の返済による支出	△937	△937
自己株式の取得による支出	△366,794	△95,957
自己株式の処分による収入	366,450	318,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△112,236	△13,404
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,197	10,503
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△676,481	141,376
現金及び現金同等物の期首残高	2,374,697	1,698,215
現金及び現金同等物の期末残高	1,698,215	1,839,592

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年4月13日開催の取締役会決議に基づき、第三者割当による自己株式の処分を行い、当連結会計期間において自己株式が180,132千円減少し、資本剰余金が138,267千円増加しました。

また、2022年10月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行い、当連結会計期間において自己株式が95,678千円増加しました。

この結果、当連結会計年度において資本剰余金が788,827千円、自己株式が406,126千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社は、作業工具及びトルク管理機器・ボルト締結機器の製造を行い、それらを国内及び海外に販売することを事業としております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は営業利益をベースとした数値であります。

当社グループは、事業セグメントに資産を配分しておりませんが、当該資産にかかる減価償却費についてはその使用状況によった合理的な基準に従い事業セグメントに配分しております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2021年6月1日 至 2022年5月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			連結財務諸表 計上額 (注) 1
	国内	海外	計	
売上高				
外部顧客への売上高	5,059,339	1,386,931	6,446,270	6,446,270
計	5,059,339	1,386,931	6,446,270	6,446,270
セグメント利益	622,823	363,120	985,943	985,943
その他の項目				
減価償却費	97,688	30,996	128,685	128,685

(注) 1 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 セグメントに資産及び負債を配分していないため、セグメント資産及びセグメント負債の記載は行っておりません。

当連結会計年度（自 2022年6月1日 至 2023年5月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			連結財務諸表 計上額 (注) 1
	国内	海外	計	
売上高				
外部顧客への売上高	5,250,031	1,550,927	6,800,959	6,800,959
計	5,250,031	1,550,927	6,800,959	6,800,959
セグメント利益	694,484	528,158	1,222,642	1,222,642
その他の項目				
減価償却費	92,279	27,229	119,508	119,508

(注) 1 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 セグメントに資産及び負債を配分していないため、セグメント資産及びセグメント負債の記載は行っておりません。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)		当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	
1株当たり純資産額	789円81銭	1株当たり純資産額	873円94銭
1株当たり当期純利益	64円36銭	1株当たり当期純利益	80円21銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産の算定上の基礎は、以下の通りであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	8,514,201	9,726,645
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
(うち非支配株主持分) (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	8,514,201	9,726,645
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	10,780	11,129

3 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	当連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	692,501	866,634
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益 (千円)	692,501	866,634
普通株式の期中平均株式数 (千株)	10,759	10,805

4 当社は、2022年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算出しております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。